

M191-1

サカモト分娩監視装置シミュレーターⅡ



SAKAMOTO MODEL
CORPORATION

ユーザーズマニュアル (180208)

— I N D E X —

- | | |
|------------|---|
| ●はじめに／もくじ | 1 |
| ●目的／内容 | 2 |
| ●取扱上の注意 | 3 |
| ●使用手順／保管方法 | 4 |

！
ご注意

商品到着時、すぐに本体と付属品を御確認頂き、不備、破損等ありましたら弊社または販売店まで御連絡頂けます様お願い申し上げます。

株式会社坂本モデル



はじめに

この度は弊社商品 サカモト分娩監視装置シミュレーターⅡ をご購入頂きまして誠に有難うございます。

商品を長く正しくお使い頂くために本ユーザーズマニュアルをよくお読みいただきご使用くださいます様お願い申し上げます。

尚、商品出荷時製品の点検は十分に行っておりますが、商品到着時すぐ開梱し、本体及び付属品の不足、破損箇所等が無いか点検してください。

もくじ

はじめに／もくじ	1
目的／内容	2
取扱上の注意	3
使用手順／保管方法	4

目的

下記の学習が可能

- ・ トランスジューサー固定練習
- ・ 3段階心拍数設定（正常、頻脈、徐脈）
- ・ 胎児心音聴取実習
(第1骨盤位、第2骨盤位、第1後頭位、第2後頭位)
- ・ 胎児触診
- ・ 腹囲と子宮底長の測定
- ・ 記録紙サンプルでのデータ読み取りシミュレーション

内容

1	ボディ部(腹部ふた付)	1体	6	模擬トランスジューサー用ベルト	2本
2	模擬分娩監視装置	1台	7	模擬記録紙4種	1セット
3	模擬トランスジューサー	2個	8	ベビーパウダー	1個
4	胎児(触診用)	1体	他	単三電池	4本
5	胎児設置用クッション	1個			



取扱上の注意

- 1 硬いものをぶついたり、落としたりすると破損する恐れがあります。
- 2 ケーブル・コードは引っ張ったり、折り曲げたりすると破損する恐れがあります。
- 3 模擬分娩監視装置とカゴは外れない仕様になっております。
- 4 模擬分娩監視装置の表面にあるゼロセットボタンはダミーです。手順を学ぶ際に用い
てください。また、液晶の表示、排紙の機能はございません。ご了承ください。
- 5 ボリュームノブは可動域以上回さないでください。破損の原因となります。
- 6 本体に水をかけたり、浸したりしないでください。
- 7 電池は単3型アルカリ乾電池4本をご使用ください。
取り付けは+、-に注意して入れてください。音が小さくなったり、
ランプの点灯が暗くなったりした場合は、新しい電池に交換してください。
- 8 使用中異常を見つけられたら、すぐに使用を中止し弊社または販売店まで
ご連絡ください。
- 9 本製品は高度な訓練を実現させたシミュレーターですが、実際の処置での
同様の効果を保証するものではありません。
- 10 本製品は改良のため、予告なしに仕様変更する場合がございます。
あらかじめご了承ください。

準備

- 1 胎児に胎児設置用クッションを巻きつけてください。
- 2 ボディ部腹部ふたをはずし、胎児(触診用)を任意の位置にセットしてください。
- 3 腹部ふたをボディに戻してください。
- 4 模擬分娩監視装置の裏側のかご部にある電池ボックスにアルカリ単3電池をセットしてください。
- 5 警告音のスイッチをオフにしてください。
- 6 模擬トランスジューサーのコードを差し込んでください。
- 7 模擬分娩監視装置の表面にあるメインスイッチをオンにし、ボリュームを調整してください。
- 8 模擬分娩監視装置の裏側にある警告音の有無スイッチ、心拍数の設定スイッチを選択して手技を開始してください。

保管方法

- 1 ジェルをお使いの場合は、よくふき取ってください。
- 2 保管するときは、電池を必ず取り出して下さい。
電池を入れたまま保管すると、電池が腐食し通電不良の原因となりますのでご注意ください。
- 3 ボディ・腹蓋のべた付き防止のためにベビーパウダーを塗布してください。
- 3 梱包用ケースに入れ、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所を避けて保管してください。

株式会社坂本モデル



本社	〒606-0865 京都市左京区下鴨東高木町34
	Tel 075-701-1135
	Fax 075-722-5638
	URL http://sakamoto-model.co.jp
	E-Mail info@sakamoto-model.com

大阪工場	〒562-0035
	大阪府箕面市船場東1-9-29